

# おかげさん

92号

真宗大谷派  
高德寺通信

2020年秋号



# 秋彼岸会

2020年の秋のお彼岸は 9/19(土) ~ 9/25(金)  
です。

例年ですと日曜・祝日には、新井白石記念ホールを“お休み処”として開放し、休憩所や待ち合わせ場所として、ご利用いただいておりますが、新型コロナウイルス感染防止の対応として、開放を取りやめといたします。申し訳ありませんが、ご理解の程、宜しくお願いいたします。

※ 22日(秋分の日(お中日))の彼岸会法要の本堂内のお参りも中止となります。



お墓のお掃除とお参りの代行  
いたします!

- コロナ禍で家から出れない、出たくない。
- 遠方なのでなかなかお参りに行けない。
- 高齢や体調の問題でお参りに行けない。

でもお墓にお参りしたい、行けないことが気になってしかたがない…。

こんなお悩みの方は お寺にご相談ください。

住職と坊主が お墓のお掃除・お花(密・色花指定可)

お線香のお供えをした後、住職が墓前でお勤めいたします。春秋彼岸会、盂蘭盆会(お盆)、年回忌、祥月命日など一年中受け付けていたします。(※高徳寺の境内墓地内に限ります)

気になっていることやお問い合わせ、ご相談等、代行のご依頼以外でも、何かありましたらお寺にご連絡ください。 ☎ 03-3368-6947

# 今年の報恩講について

誠に残念ではありますが、新型コロナウイルス感染のリスクを考慮いたし、10月24日(土)に予定しております高德寺の報恩講は、『<sup>うちづと</sup>内勤め』(寺の着で勤める形)にさせていただきます。なお、法話は<sup>かい ほうりゅう</sup>海法龍先生がご出講くださいますので、その模様を後日、寺のホームページにて動画で味めて(ご覧)頂けるようにしたいと考えております。また寺報の“別冊”の発行も予定しております。内勤めという形で<sup>じしゆ</sup>巖修させていただきますことを、ご了承くださいませよう、宜しくお願いいたします。

報恩講は、お念仏の教えを伝えてくださった<sup>しんらんしょうにん</sup>親鸞聖人のご法事です。コロナ禍においても例年通りのお荘<sup>しょうじん</sup>巖(お飾り)でお勤めする都合上、世話人様にはスタッフとしてお手伝いをお願いしております。コロナウイルス感染予防の対策を出来る限り、して参ります。参詣を予定されておりました皆様には申し訳ございませんが、今回は、このような形でお勤めさせていただきます。 住職 拝

# 釋了吾の 八女日記

思い起こすと今年の夏は大変な暑さになりました。私のいる八女市でも連日35度を超える猛暑日が続き、うだるような熱気が町を覆いました。年々暑さが厳しさを増しているような気もしています。豪雨など、九州では地球環境の変化を肌で感じることも多くなっているこの頃です。皆様のお住まいの地域ではいかがでしょうか？

そんな中、今年もお盆がやってきました。明永寺さんでは、8月の15日までの一週間がお盆のお勤めのある期間です。その間、毎年お参らせていただいているお宅にお邪魔をして、夕い時で一日に20軒ほどお参りをします。また、7月のお盆法要が終わってから、初盆(新盆)の方のお参りが始まります。4月に私がお寺に勤め

出してから、最初にお葬式に行ったお宅に初盆のお勤めに行くときには、時が経つ早さを感じました。たった5ヶ月ですが、夕いの方の亡くなられた姿に遇わせていただきました。ご遺族のごとに様々な状況で、人の死と言っても沢山の深い悲しみがあることを感じました。

そして今年には新型コロナウイルス感染症のために例年と違ったお盆でありました。八女市では9月5日の時点で感染された方が4人と、大変少ない状況ではありますが、みなさんマスクや消毒など徹底されています。その中で、我々お寺の者もマスクを着用し、厳重に警戒しながらお盆のお参りをしました。今のところ感染者は出ておりませんが、ただ、コロナウイルスよりもむしろ熱中症が怖い夏でした。というのも、お参り先は近所の細い路地を通るために、自転車か交通手段となっております。法衣を着込んだ上で自転車を漕ぎ、お宅に上がる際はマスクをつけてお勤めする…これはなかなかしんどいのです。マスクをしているために、口の中が乾かず、自分が脱水状態

にあるということが分らない。クラツとして意識が遠のいたときには、恐怖を覚えました。コロナのために、お宅でのお参りの際に、ゆくりお話をすることも控えさせていただいているので、すぐに移動となり、なかなか休憩が取れなくて大変な夏でした。

また、9月2日(水)に明永寺さんでは、住職継承法要が厳修げんしゅうされました。私もお世話になっている若院さん(副住職)が住職になられる法要です。本当は5月に勤まる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期になり、9月になってしまいました。ご門徒の皆さんに参拝していただく予定でしたが、コロナ対策として役員さんなど、最低限の人数での法要となりました。無事に勤まりましたが、お斎おき(お食事)が無くなる等やはりどこかコロナ以前とは違った法要でした。私は裏方として法話の講師としてご出講いただきました。三明智範先生の送迎や、本堂のお荘厳おしょうこん(お飾り)を担当しました。緊張しましたが、と

ても貴重な経験をさせていただいたと思います。この原稿を書いているのは台風10号が接近しつつある9月5日の事です。九州は毎年ひどい災害が多く、身を守る大切さを実感しています。  
釋了吾 (住職代筆)



↑ 釋了吾 前坊守・前住職 三明智先生 新任住職・新坊守 右へ八女第2  
ブロック12ヶ寺のご法中と総代さんと、ハイポーズ...! おおびびりです!  
\* 写真撮影中のみマスクを外しました...とのことです。



## 坊守便り

「変化をしても変わらないもの」

皆さま、こんにちは。 高德寺の坊守、新井美幸（法名 釈尼香心・しゃくに・こうしん）です。

ご門徒の皆さまには、いつもお寺の護持にご尽力いただきまして、有り難うございます。

この度、住職から勧められ、日々の感じたことを中心に、坊守便りを書かせていただく事になりました。どうぞ、宜しくお願い致します。

さて、先日の事です。 インテリア関係の仕事をしている友人と、半年ぶりに会いました。 仕事でも責任者として頑張っていた彼女ですから、近況を聞いてみると、やはり感染症流行による仕事への影響があったようでした。 リモート作業が増え、オンラインシヨップの開設や、新体制のための整備など、本当に目まぐるしい半年間だったそうです。

プライベートでは一人息子さんが結婚し、早くもお婆ちゃんになるのだとか。

「おめでとう、嬉しいね」と声をかけると、複雑な胸の内を話してくれました。

「嬉しいけどね、なんだか寂しくなっちゃって」

彼女はシングルマザーだったので、急に一人になってしまい、広すぎる部屋を引き払って、小さなアパートへ越したようでした。 そんな彼女が、この先の世の中はどうなっていくのか、不安だと言いました。

それは、誰もがこのコロナ禍において、少しは感じている事でしょう。 少しどころじゃないかもしれません。 私たちは先が見えない事は不安の種になりますから。

でも、彼女の不安はきつと急に一人になった事への寂しさもプラスになっているのだらうと思えました。

大切に育てた息子さんですから、結婚しても母である彼女を大切にしてくれるはずですが、

それでも、今まで通りの関係ではいられない事への気持ちの整理がまだつかないのだと思いました。 自分がどれだけ誠実に一生懸命育ててきたか、その事実は変わらないはずです。

環境が変わっても変わらないもの、それは築き上げてきた時間の中で芽生え、育まれた関係性でしょう。 次に彼女に会う時には、お孫さんの自慢話が聴ける事を楽しみにしたいと思います。

釈尼香心

# Omigaki Onrei

2020 6/28(日)

伊藤隆介さん 海東雅子さん  
清水 和美さん 菅原 悟さん 菅原 徳子さん  
塚田 和子さん 塚田 太郎さん 寛谷 恵美子さん  
水越 拓路さん 水越 和子さん 柳澤 佐智子さん

2020 9/13(日)

新井 和子さん 石井 玉枝さん  
清水 和美さん 菅原 悟さん 菅原 千徳子さん  
塚田 和子さん 寛谷 恵美子さん 水越 拓路さん  
水越 和子さん 柳澤 佐智子さん (あいを順)

◆ ご奉仕頂きまして誠に有り難く思っております。

おかげさんで仏具はいつもピカピカです! 次回は12/20(日)14時の予定です。

かんは御礼 ... 神野くららさん 大槻宏子さん 有り難うございます。

2020年の「寺子屋の時間」

※状況により予定変更の場合はホームページでお知らせします!

10/3 (土)

11/14 (土)

12/12 (土)

いずれも 14:00~16:00  
本堂で開催いたします。

※望年会はありません。

※ マスクの着用、手の消毒、ソーシャルディスタンス、部屋の換気等を行い、対応いたします。

※ 誠に残念ですが、「寺うた」は再会出来る時が来るまで“中止”といたします。



「報恩講をお勤めしない寺は真宗の寺ではない  
 ぬ。... 今から約30年前に聞いた海法龍氏  
 (今年の報恩講にご法話くださるご住職)の言葉  
 は、今でも耳に残っている。また、蓮如上人の  
 お手紙には、報恩講にお参りしない者は、木  
 や石と同じである...とある。人間ではない  
 と言われている。誠に厳しいお言葉だ。自分  
 のご先祖でもなければ、友人・知人でも、寝食  
 を共にした人でもない親鸞聖人という方の法事  
 は、なぜそんなに大切なのであろうか？  
 全人類、全ての人に平等に問われる大切なこと、「誰に  
 とっても本当のこと」を明らかにされた方であるから...。  
 その親鸞聖人の教えをあらためていただきなおし、新たな  
 スタートを切るのがこの報恩講という御仏事である。新型コ  
 ロナウイルス感染症防止の対策として「内勤め」とさせていたくださ  
 るご法話の模様は高德寺ホームページでの動画(録画)配信ならびに寺報の  
 別冊でお伝えしたいと考えている。来年は有縁の方々と朋に勤めたいなあ...。釋義祐



〒164-0002  
 東京都中野区上高田1-2-9  
 ☎ 03-3368-6947  
 FAX 03-3362-8019

okagesan 92  
 発行日 2020.9.19  
 発行 真宗大谷派 高德寺  
 編集 新井義雄  
 (法名・釋義祐)  
 「若きとき仏法はたしなめ」  
 (蓮如上人御代記開書)  
 《表紙の絵》「摸鼻」(ばくはな)  
 木鼻の一種... 社寺建築で頭貫  
 などの端が柱から突き出た部分。  
 見た目は象みたいですね...